

## 「ともに支え合う豊かな福祉社会」をめざして

本計画は、平成12年の介護保険制度の創設と同時にスタートし、このたび7度目の策定となります。

この間、わが国の高齢化は益々進展し、現在4人に1人が65歳以上の高齢者という状況にあります。

本市においては、国を上回る速度で高齢化が進み、平成30年2月末現在で65歳以上の高齢化率は37.3%に達しており、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年には65歳以上は38.4%、75歳以上は平成29年から3.9ポイント増の23.8%に達すると見込まれております。

このような状況を踏まえ、「高齢者が健康で生きがいを高め、介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できるまちづくり」を基本理念として、高齢者の保健・福祉及び介護保険事業が相互に補完し合い、今後取り組むべき施策を取りまとめた「第7期砂川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたしました。

今後、この計画を基に関係機関との連携強化を図り、第5期計画からスタートした「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組んでいくこととしております。

本計画の推進にあたりましては、行政だけではなく、市民の皆様をはじめ、関係機関などが互いに連携することが大切であると考えますので、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

終わりに、本計画の策定にあたり、それぞれの専門分野や市民代表としてのお立場から貴重なご意見やご提言を賜りました砂川市高齢者保健医療福祉推進協議会委員をはじめ、関係機関・団体各位、ニーズ調査にご協力いただきました市民の皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

平成30年3月

砂川市長 善岡雅文

